Communication news
学長室の窓
福岡女学院大学
福岡女学院大学短期大学部

Vol.31　2023年10月号【2023. 10. 1】

【マタイによる福音書 4:4】
イエスはお答えになった。
「『人はパンだけで生きるものではない。神の口から出る一つ一つの言葉で生きる』と書いてある。」
【Matthew 4:4】
Jesus answered, "It is written: 'Man does not live on bread alone, but on every word that comes from the mouth of God.' "

「葡萄祭に思う」

学長　伊藤　文一

「秋桜」（「あきざくら」、「コスモス」）が風に揺れる季節になりました。秋桜の揺れは虹を生むという表現を聞いたことがあります。「秋桜」は、秋に桜のようなピンク色の花を咲かせることから名付けられたようです。

秋の桜と聞くと日本発祥の花のようにも感じられますが、実は明治の初め頃に渡来した外来種だそうです。雨が降っても、風が吹いても、何も守ってくれるものはありません。しかし、たくましく咲いています。私たちも見習うことが多いのかもしれません。

さて、大学の構内に目を向けると、学生も教職員も葡萄祭に向けて、着々と準備を進めています。

数年前に、教職課程の学生たちが、「ホットドッグ」を販売していたことを思い出します。チームで取り組むその姿には、一見楽しんで活動しているように見えましたが、学生たちは真剣そのものでした。それは、目的があったからです。その収益で、東京フィールドワーク（文部科学省・東京大学・その後は自由行動）を計画していました。学生20人から30人の仲間（チーム）で企画しました。「どこで材料を仕入れるか」「どうやって運ぶか」「売れるにはどういう工夫をするか」、いろいろと思考を巡らせていました。

そして、お客様が買ってくださったときは、みんなで喜びを分かち合っていました。

他人が喜んでいる姿を見て、自分のことのように喜べる人は素晴らしいなと思います。

私はこのプロセス（過程）が大切ではないかと考えています。

「ｔｈｉｎｋｉｎｇ」：考えて考えて考え抜く
「ｔｅａｍｗｏｒｋ」：チーム力を最大限に引き出す
「ａｃｔｉｏｎ」　：一歩前に踏み出す

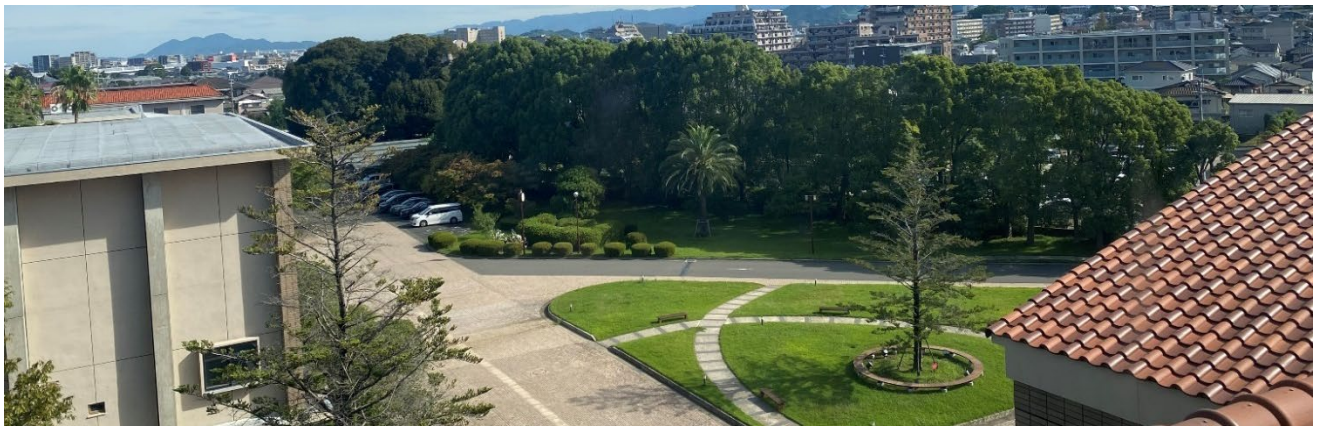
これが社会人基礎力です。これらの能力が「葡萄祭」では養われるのではないでしょうか。実際に、その目的がはっきりすれば、意欲が増します。

社会に出ると、課題発見から始まり、その課題をチームで解決していきます。そして、次の仕事に生かせることはないかを考えます。

社会人になると、こういう企画力が大事になります。自分と会わない人ともチームを組むこともあります。一つの課題に一緒に取り組み、成果を求めます。

第58回葡萄祭におけるテーマは「Ｄａｙｂｒｅａｋ～希望と笑顔をのせて舞い上がれ！～」です。このテーマのように、大きく、高く舞い上がって、夢をつかんでほしいと願っています。

是非、葡萄祭では、チーム一丸となって皆さんの日頃の成果を発揮され、喜びにあふれた2日間になることを心より祈っています。



2023 年度前期卒業式・修了式

9 月 26 日(火)に 2023 年度前期卒業式･修了式を挙行しました。卒業生及び修了生はガウンキャップを着用しました。伊藤学長より卒業証書・学位記授与があり、学位授与宣言の後、式辞を述べられました。卒業生・修了生の方々の今後のご活躍をお祈りいたします。

第 50 回 Grape Cup Contest

9 月 23 日（土）に英語の暗唱力を競い合う Grape Cup Contest が開催されました。審査には言語的側面と非言語的側面の 2 つの側面から採点が行われました。優勝者は長崎日本大学高等学校の生徒さんでした。英語の発音はもちろんのこと、感情が高まる場面では声のトーンを変え、豊かなジェスチャーや表情で効果的に場面の雰囲気を表現していたという点で、審査員の票を最も多く集めました。

テネシー大学　学内新聞　掲載

短期大学部は学生を夏期休暇中に 2 週間アメリカのテネシー大学へ交換留学生として派遣しました。5 月にはテネシー大学より学生が 1 名、本学に派遣され、2 週間ほど滞在していました。現地では、その学生とも会え、再会を喜びました。

留学期間中に、本学学生が、“JAPAN DAY” というイベントで書道を紹介し、テネシー大学の新聞で取り上げられました。

addenda

Japan Day helps share culture

ウィスコンシン大学　編入生　来校

短期大学部はアメリカのウィスコンシン大学リバーフォールズ校と提携しており、短大を卒業後に、3 年次編入をすることができます。2023 年の 9 月より新学期が始まるのに合わせて、新たに編入する卒業生と 4 年生になる卒業生が学長室に来室しました。3 年次に編入する卒業生は短大時代にイマージョンコースに在籍し、TOEIC®750 点以上を取得済みです。その実力を活かして、アメリカの大学でさらに専門について学ぶ予定です。4 年生になる卒業生は途中でメジャーを変えるなど、多くのことに積極的にチャレンジし、来年の卒業後についても、様々な可能性を視野に入れて検討中です。

活動報告９月【 文(ﾌﾞﾝ)ちゃんがゆく 】

①

②

③

講演活動

①津田塾大学　学長　高橋裕子　様
②一般社団法人日本私立大学連盟主催　令和 5 年度教学担当理事者会議出席者の皆様
③九州大谷短期大学　山田俊之　様
<講演活動>９月２日（土）子どもと地球の未来のための国際会議
シンポジウム（西南学院大学）

地域清掃活動

9 月 21 日（木）雨が降った後でしたが、教職員が集い、星のかけら拾い（地域清掃）を行いました。

秋に入り、朝晩、涼しくなり、地域清掃も活動しやすい時期となりました。この活動は学生や教職員の新たな交流の機会となり、つながりもうまれます。

参加ご希望の方は p_office@fukujo.ac.jp までご連絡ください。開催日時は第 3 木曜日 7：45~8：15 の予定です。

学長室の窓 Communication news
福岡女学院大学 福岡女学院大学短期大学部

すべて学生のために

感想・ご意見などをぜひお寄せください。
学生や教員の活躍など、記事掲載希望の方は p_office@fukujo.ac.jp にご連絡ください。※クリックでも開きます。